

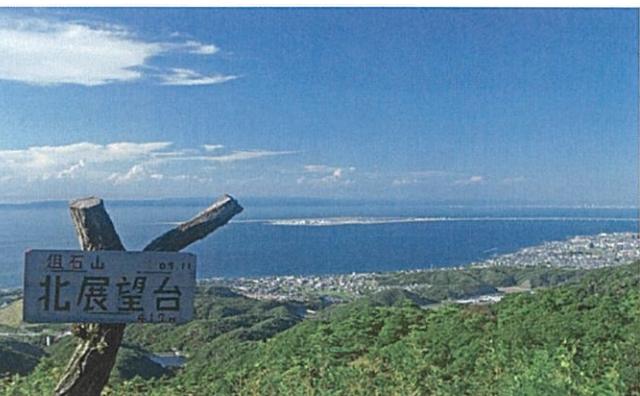
令和2年度 近畿都市教育長協議会

新しい時代に求められる資質・能力の育成

～社会と連携・協働しながら、未来の創り手となるために必要な資質・能力を育む～

大阪府 阪南市 教育委員会

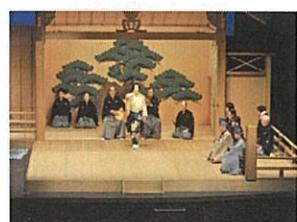
SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS 「誰も一人ぼっちにしない、誰も排除しないまち」
SDGs × 阪南市



山上から、関西空港、淡路島、市街地を望む



旧熊野街道



文化センター大ホール内に設置できる能舞台



これ、どこで食べれるん？
え！ 大阪なん？

阪南市



1、阪南市の概況

「ちょうどよい田舎」

- ・大阪市まで電車で40分
- ・かつては、街道沿いに、農村や魚村が点在
- ・3つの漁港
- ・昭和40年代以降、丘陵地に大規模な宅地開発
- ・現在も、森・里・川・海に自然が残る住宅都市
- ・人口53,874人
(令和2年1月現在)
- ・高い高齢化率
- ・S D G sによる街づくり



箱作海水浴場・ぴちぴちビーチ



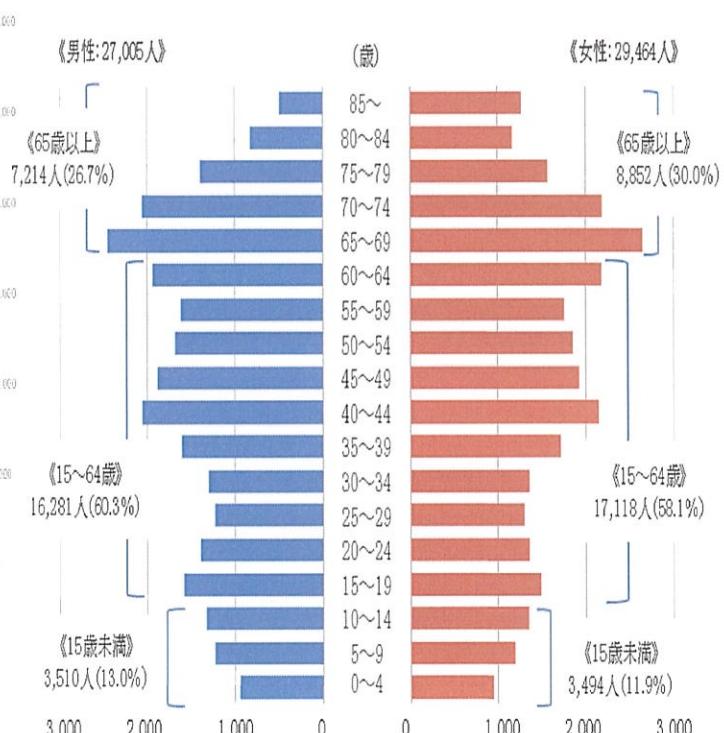
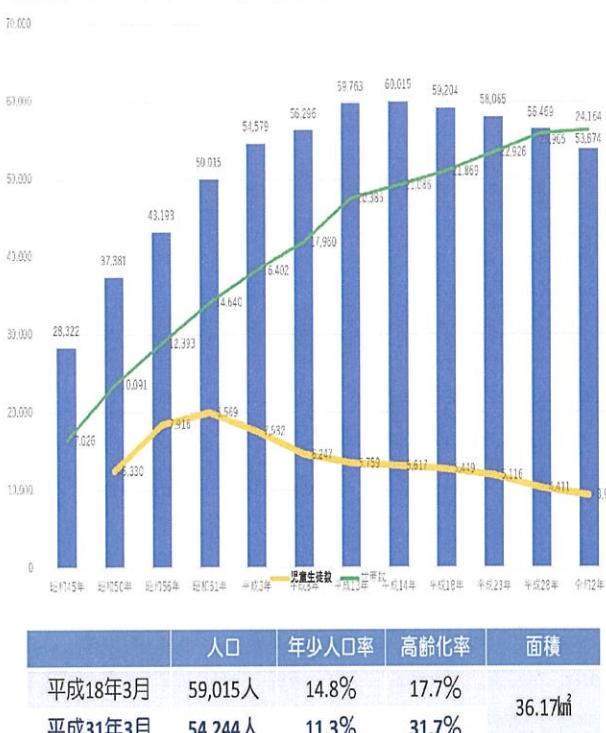
高校生ビーチバレーの全国大会



秋祭りの「やぐら」

阪南市の人口・世帯数・児童生徒数推移

【図】阪南市の年齢階層別的人口(住民基本台帳:平成28(2016)年1月)



校種別 児童・生徒数 学級数

<平成31年度統計>

小学校名	児童数	学級数	中学校名	生徒数	学級数
尾崎小学校	302	18	鳥取中学校	473	19
西鳥取小学校	154	8	貝掛中学校	279	11
下莊小学校	326	15	鳥取東中学校	360	12
東鳥取小学校	555	23	飯の峯中学校	238	8
舞小学校	232	11	合計(4校)	1,350	50
幼稚園名			園児数	学級数	
朝日小学校	285	15	尾崎幼稚園	38	3
上荘小学校	354	14	はあとり幼稚園	90	5
桃の木台小学校	425	15	まい幼稚園	79	3
合計(8校)	2,633	119	朝日幼稚園	20	2
			合計(4園)	227	13

学校園の整理統合

平成18年策定

「小中学校及び幼稚園整理統合整備計画」により

○令和2年4月までに

- ・小学校：12校を8校に
- ・中学校：5校を4校に
- ・幼稚園：12園を4園に 統合

○ねらい

- ・学びの集団を大きく
- ・1校あたりの教員数を多く
- ・整理統合と耐震工事・大規模改修を併せて実施することにより、施設・設備を整備する
- ・通学路を整備する

○効果と評価

- ・学習環境が一新、学力面の改善もみられる
- ・生徒指導面の改善も効果のひとつ
- ・教育施設・設備等、教育環境整備が進む
- ・統合は教育的効果が大きい

整理統合時に実施した大規模改修 全校トイレ改修

乾式トイレ化、バリアフリー化



多機能トイレ化



校門前交差点を大きく改良



学校の跡地を、コミュニティセンターとして利活用

市の施策

○SDGsの取組

【SDGs（エスディジーズ）：持続可能な地球にするために、世界が2030年までに達成すべきとした17の開発目標】

◆ SDGsの理念「だれ一人取り残さない」に基づき、市では「誰も一人ぼっちにしない、誰も排除しないまち」を政策に掲げ、市民協働の街づくりをおこなっている。

◆市と教育との共通目標

- ・4：質の高い教育をみんなに
- ・13：気候変動に具体的な対策を
- ・14：海の豊かさを守ろう



2、阪南市の教育

○ 教育大綱の基本理念　：　まなぶ・はぐくむ・つなぐ、生涯学習のひと・まちづくり

○ 市の教育推進重点テーマ

～私はできる、私もだいじょうぶ、私は人の役にたっている～

- ・毎年の「全国学力学習状況調査」の結果分析から、全国・大阪府と比較して、本市では
①国語の読解力をはじめ、各教科とも課題が多い
②自己について、有用感がもてない児童・生徒の割合が高い
③生活習慣の乱れが大きく、家庭学習に課題があることが判明
- ・どの子も基本的な生活習慣を身につけ、何をするにも自信を持った子になってほしい。
先生方には子どもたちからの信頼感を高め、子ども一人ひとりの達成感・安心感・貢献感（三つの感）を育んでほしいとの願いから、教育委員たちで、重点テーマを設定。

○ 阪南市教育委員会・平成31年度「学校園教育基本方針」最重点取組

- 児童・生徒の学力向上・体力向上・生活改善を一体に取組む
～よりよい生活習慣の定着を図り、学習意欲や体力の向上をめざします。～
- ・園児・児童・生徒の生活習慣改善に取り組みます。
- ・確かな学力を育む、保育・授業改革に取り組みます。

3、生活の根を強く、学力・体力の幹を太く

① 授業改革の推進

教員一人ひとりが授業を改善し授業力を高める

→ 授業研究の先進校を視察、公開研究授業、学力向上研修、校内授業研究、教育委員の学校訪問、市教委主催教育フォーラム等

② 体力向上の取組

→ 体力テストの向上を目標に、体育の授業だけでなく、特別活動、休み時間を活用

③ 生活改善の取組

→ リーフレットを家庭に配布し啓発、ケーブルテレビで広報、学校教育自己診断改善、児童会・生徒会で取組、PTAで講演会

④ 家庭学習の取組

→ 家庭学習リーフレット、自主学習ノート

⑤ 英語教育の推進

→ JETプログラム、英語劇鑑賞の活用

⑥ 読書活動の充実

→ 学校図書館専任司書と市立図書館連携



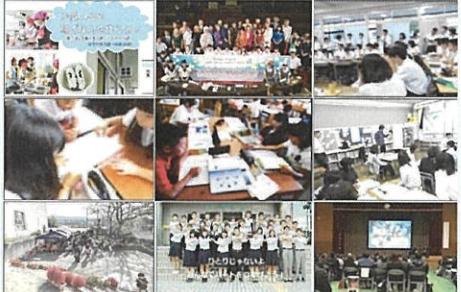
4、学力・体力向上のための18の取組

[目次]

ページ

**学力向上・体力向上を推進する
阪南市教育委員会の取組**

(平成31年度全国学力・学習状況調査結果分析報告より抜粋)



令和2年3月
阪南市教育委員会事務局 生涯学習部 学校教育課

1. 学力向上・体力向上のための取組

- | | |
|---|------|
| 1-1 よりよい生活習慣の定着から子どもの学力向上をめざします | • 1 |
| 1-2 よりよい生活習慣の定着を図り学習意欲や体力の向上をめざします | • 2 |
| 1-3 家庭学習の充実を図り学力向上につなぎます | • 3 |
| 1-4 A L T の拡充と英語劇を通して英語教育を充実させます | • 15 |
| 1-5 海洋教育を通して主体的に課題を解決する力を育みます | • 16 |
| 1-6 研究先進校の授業を視察し授業改革を前進させます | • 17 |
| 1-7 公開研究授業により改革の成果を波及します | • 18 |
| 1-8 学力向上研修により各校の授業研究の質を向上させます | • 20 |
| 1-9 指導主事がチームを組み校内授業研究を支援します | • 22 |
| 1-10 教育フォーラムを開催し授業改革を実現します | • 23 |
| 1-11 少人数指導により、きめ細かな指導の充実を図ります | • 24 |
| 1-12 初任者教員の指導力向上をめざす校内体制の整備を図ります | • 25 |
| 1-13 学校図書館専任司書との連携により読書活動を言語能力の育成につなぎます | • 26 |
| 1-14 学校図書館を充実・活用するためのモデル事業を推進します | • 27 |

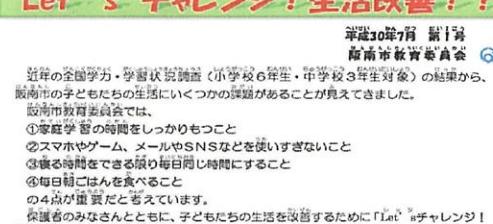
2. 自尊感情を高め、地域や社会との関わりを深めるための取組

- | | |
|--------------------------------|------|
| 2-1 生徒会サミットにより主体性を育み自己有用感を高めます | • 28 |
| 2-2 人権教育を通じて「学びに向かう力」を充実させます | • 29 |
| 2-3 「考え方、議論する道徳」を通して自尊感情を育みます | • 30 |
| 2-4 地域社会とともに新しい時代に必要となる力を育みます | • 31 |

5、子どもの生活を改善する取組

Let's チャレンジ！生活改善！！

平成30年7月 認定
阪南市教育委員会



近年の全国学力・学習状況調査（小学校6年生・中学校3年生対象）の結果から、阪南市は子どもたちの生活にいくつかの課題があることが見えてきました。

阪南市教育委員会では、

- ①家庭学習の時間をしっかりもつこと
- ②スマホやゲーム、メールやSNSなどを使いすぎないこと
- ③寝る時間までできる限り毎日同じ時間にすること
- ④毎日朝ごはんを食べること

の4点が重要だと考えています。

保護者のみなさんとともに、子どもたちの生活を改善するために「Let's チャレンジ！生活改善！」と始めたお便りを行いました。

ぜひ、お子さんと一緒に読んでみてください。

家庭学習の時間を大切に！

スマホ・ゲームのやりすぎ注意！

学年	阪南	全国
小1	25.9	11.3
小2	35.4	18.3

学年	阪南	全国
小1	36.1	31.1
小2	63.3	57.6

寝る時刻を規則正しく！

毎日同じくらいの時間に寝ていると答えた子どもの割合 (%)

学年	阪南	全国
小1	22.6	38.5
小2	24.6	31.1

毎日同じくらいの時間に寝ていると答えた子どもの割合は、小学生で約3割、中学生で約2割となっています。毎日寝起きが不規則になると、イラつきや、攻撃性が高まるなど情動面に影響があると言われています。毎日同じくらいの時間に寝ることができるように生活リズムを整えることが大切です。

毎日食べよう朝ごはん！

「毎日前食をとる」と答えた子どもの割合 (%)

学年	阪南	全国
小1	79.4	82.0
小2	72.5	82.7

<生活改善の取組>

- ・啓発リーフレットを作成し、公私立を問わず、保幼小中・全保護者に配布
- ・取組キャラクターに子どもたちが命名
- ・教員は配布時に必ず指導を加える
- ・各校園便りなどで啓発
- ・P T A等の各種講演会のテーマに
- ・広報紙掲載、インターネットテレビ出演
- ・「学校教育自己診断」で必ず評価

○「全国学力・学習状況調査」児童・生徒質問紙

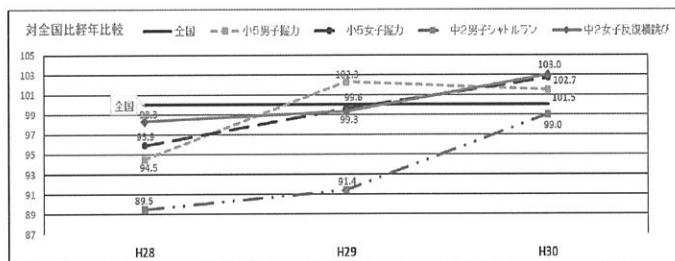
現在・寝る時刻

- ・家庭以外の勉強時間
- ・家庭での自律的な学習
- ・読書の時間 に改善傾向が見られる。

→「全国学力・学習状況調査」の教科別得点結果は、横ばいまたは改善傾向
→「改善傾向は、教科テストの結果より先に、児童・生徒質問紙に現れる」と助言あり

6、子どもの体力と家庭学習を改善する取組

○「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」

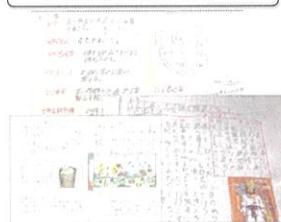


1-3 家庭学習の充実を図り学力向上につなぎます

課題意識

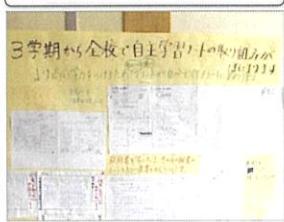
過去の全国学力・学習状況調査における「学校の授業時間以外に、普段、1日当たりどれくらいの時間、勉強しますか」の質問に対し、「30分より少ない全くしない」と回答をした阪南市の子どもの割合を全国平均と比べると、平成29年度の中学生は2倍、平成30年度の小学生は約2.8倍と大変厳しい結果となりましたが、平成31年度は、全国平均と比べるとやや多いものの大坂府平均より下回り、小・中学校ともに大きく改善しています。近年、阪南市では、家庭で自学自習する習慣の定着をめざし、「自主学習ノート」の取組を進めています。

自主学習ノート



スクール・エンパワーメント推進校における自主学習ノートの取組

自主学習ノートの校内掲示



スクール・エンパワーメント推進校における公開研究授業掲示物

成果と今後の方針

平成31年度の全国学力・学習状況調査結果から、学校の授業時間以外で学習に費やす時間は、全国平均に近づいており、改善傾向にあります。また、「家で、自分で計画立てて勉強していますか」の質問に対して肯定的な回答をした児童・生徒の割合も小・中学校ともに昨年度を上回っています。平成29年度より大阪府教育庁によるスクール・エンパワーメント推進事業実施校を中心に進めてきた自主学習ノートの取組は、公開研究授業や学力向上担当者研修における実践報告等を通じて、市内の他校にも波及してきています。今後も家庭における児童・生徒の自律的な学習の充実を図る取組をいっそう前進させ、学力向上につなげていきます。

特色ある教育：小学校

7、海をフィールドにした環境学習



西鳥取小学校 3年生
関西大学北陽高等高校 生徒会

- 海の疑問を課題として、
・探求型の協働学習を行い、主体的に課題を解決する能力を育む。





「海を守るための活動」 わたしたちに できることは何?



海を守り隊!

隊員1号
ゴミひろいくん

8本の手で、たくさんゴミを拾うよ。
ゴミを捨てている人がいたら、飛んで行つてゴミを拾うよ。



海を守り隊!

隊員2号
水をとめるくん

水道の水が出でたら、見逃さずに止めるよ。



○「海を守り隊」の活動

児童たちが考えたキャラクターを用い、市長・行政職員や市民も隊員となり、小学生の海の保全活動をサポート

海を守り隊!

隊員3号
むだづかいしないくん

必要な分だけ使
うよ。
シャンプーは、
ポンプを1回しか
押さないよ。



海を守り隊!

隊員4号
のこさないくん

宿でも残さず食
べるよ。
最後まで飲むよ。



海を守り隊!

隊員5号
よびかけるくん

「海を守り隊」の一員を増やすために、
よびかけます!!



○全国アマモサミット

- 全国から海洋研究に係る研究者、大学教授、水産関係者、高校生、小中学生が集合し、環境問題や海の再生活動を議論
- 高校生と共に小学生が研究成果発表



新しい時代に求められる資質・能力の育成

社会に開かれた教育課程の三つのポイント①



ポイント①

よりよい学校教育を通じて
よりよい社会を創るという目標を
学校と社会とが共有します。

社会に開かれた教育課程の三つのポイント③



ポイント③

地域と連携・協働しながら
目指すべき学校教育を実現します。

社会に開かれた教育課程の三つのポイント②

ポイント②

これからの中学校を中心とする社会を創り出していく
子供たちに必要な資質・能力が
何かを明らかにし、
それを学校教育で育成します。

海洋教育パイオニア スクールプログラム

探求型協働学習
海洋教育カリキュラム研究

子ども福祉委員活動

地域課題解決学習
福祉教育カリキュラム研究



今後

- ・各校のカリキュラム研究を推進
- ・カリキュラムや教材を市全体に普及
- ・市及び教育委員会の施策構築と展開
- ・教育委員会の先導的指導助言

特色ある教育：中学校を中心に 9、子ども福祉委員の活動

○社会に開かれた学び

- ・日常的で継続的な学び
- ・身近な課題を「我がごと」に近づけて
- ・教育と福祉との融合
- ・現在は、課外活動として
- ・市・行政団体と市教委連携
- ・高齢者や地域の課題を自身の課題として
- ・テーマ
　　高齢化、買い物難民、生活困りごと、防災等
- ・効果
　　→子どもたちの自信・自尊感情の高まり
　　→不登校解決の手立て
　　→教員の働き方改革
- ・展望
　　→各校を拠点に参加人数が急増中
　　→今後は、カリキュラム研究を進め、
　　教育課程との整理を図る

キーワードは「笑顔」 地域を支える、子ども福祉委員の活躍！

阪南市で、子ども福祉委員が誕生して1年半。その活動の場は大きく広がっています。昨年末に開催された「子どもボランティアサミット」での発表から、その活躍ぶりを紹介します！

子ども福祉委員
市内3中学校・1小学校
計43人
(H31.1月現在)

The collage includes several photo boxes with captions:

- 阪南中学校子ども福祉委員**
「他の駅の受けかえ直しのトマトの販売、買いたいひとを手伝ひたいと思っていました」
- 鳥取県中学校子ども福祉委員**
「日々の運営で、おもてなしと私を笑顔にならせるのでそのような活動をしていてうれしいです。」
「ボランティア活動を始めたとき、大きな達成感を感じて心が温かくなりました！」
- 飯の森中学校子ども福祉委員 (夢かな太郎)**
「たくさんの人に会い、笑顔が増えればいいなと思ったので活動に参加しました。」「これまでの活動で、いろいろなことを学ぶことができました。」
- ミーティングで、やりたい活動を伝えたい、これまでの活動を聴取して学校に発表しています。**
- 貝原中学校子ども福祉委員**
「林の収穫をお手伝いして、高齢者にはたいへんな作業だと思いました」
「地域の映画の会の手伝いで、高齢の方のたくさんの方の笑顔が私たちも笑顔にしてくれました。」
- 下庄小学校子ども福祉委員**
「地域の高齢者の施設に行ってカレー作りを手伝いました」
「高齢者の方には、段々と笑顔が戻りました。」
「下庄宿舎では、「おわせちゃん先生」と呼ばれてうれしかったです。」
- 子どもボランティアサミット 開催しました！**
「笑顔で手をつなぎ合って、意見交換しました！」
- 子どもボランティア宣言**
 - ・もっとたくさんの人の笑顔を見る
 - ・楽しく活動をする
 - ・いろいろなことを学び、たくさんの人を笑顔にする
 - ・積極的に多くの人の笑顔にするためにがんばる

子ども福祉委員（夢かなえ隊）

子どもたちを取り巻く背景



地域の高齢化・担い手不足



- ・地域活動の機会が少ない
- ・自信がない、自己有用感が低い子が多い
- ・「生きる力」と自信を育む
- ・学校は多忙で地域の協力が必要
- ・孤立化 家族機能の低下
- ・訪問活動や、居場所づくりなど市内で多くの人が活動
- ・活動者の平均年齢が高い
- ・活動の継続や拡大には新たな担い手確保が課題



子どもたちが主体的に地域の担い手となって活動することで、双方の課題解決につながるのでは・・・

困りごとを知る → 活動立案

- ・ミーティングで、どんなことをやりたいか話しあう

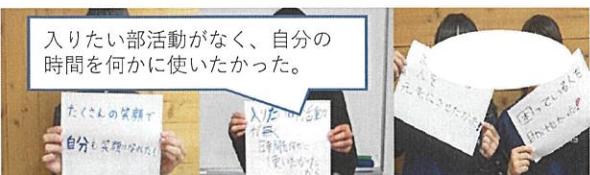


困りごとの解決



台風後の片づけ、家具移動や買い物付き添い、電球交換、換気扇掃除など

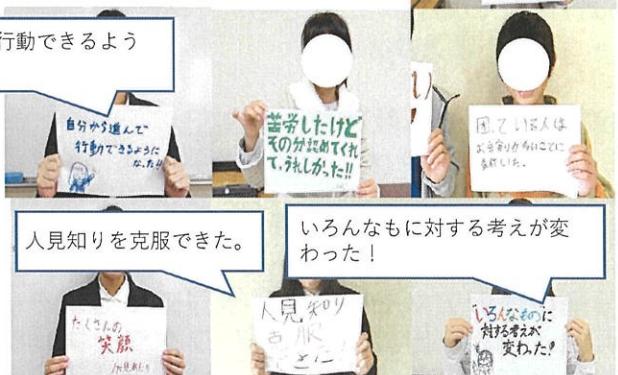
入りたい部活動がなく、自分の時間を何かに使いたかった。



私たちの想い・・・



子どもたちの声



～私はできる、私もだいじょうぶ、
私は人の役にたっている～

児童・生徒の声：「自分の性格や行動が変わった」と90%が回答
「将来も阪南市に住みたい」と79%が回答

10、阪南市の英語教育

阪南市の英語教育
～はんなんの子どもたちがワクワクしながら英語を学びます～

★ 英語ミュージカルを、市内全ての児童が、鑑賞します。

劇団K!O の英語劇『マグナとふしきの少女』を、保護者・地域の方と一緒に、各小学校で鑑賞します。(小学校の後は、幼稚園(保育所)にも鑑賞を広げます。)

ふるさと柄既に活用したクラウドファンディングで、目標の100万円を達成しました。
ありがとうございました!

中学校 ALT4名(各校に1名)
～毎日英語に接し、深く学ぶ～

・英語指導助手(ALT)が常駐
・中学生は週4時間(年間140時間)の『外国語科』学習

小学校 ALT4名(2校に1名)
～英語に親しみ、楽しく学ぶ～

・全員が『英語劇』を鑑賞。当日と前後のカリキュラムで学習
・5~6年生は週2時間(年間70時間)の『外国語科』学習
・3~4年生は週1時間(年間35時間)の『外国語活動』学習

幼稚園(保育所)
～英語に触れる～

・英語劇やALTとの交流活動で英語に触れます。

★ JETコーディネーター
総合コーディネーターを配置し、ALTと教員をサポートします。(市内2名)

JETのALTは、地域ボランティア、市立開設の英語を活用した活動、公民館の日本語教室、和泉町公民館のイングリッシュクラブ、などの連携など多くの可能性が広がります。

◆G20大阪サミットで、各首脳に「はんなんの海・アマモ」について発表した阪南の子どもたち。市教育委員会では、現在、小学校4校の先生方や児童と共に、「海洋教育/リオニアスクールプログラム」の研究を進めています。夢の一つは、ブルーカーボンなど、地球環境保全の学習成果を、英語で、世界に向けて発信できる子どもが育つことです。

★ 12年間の英語学習で、中学卒業までに、英語検定3級程度の学力を目指します。
★ 英語で世界と繋がります。

私はできる！私もだいじょうぶ！
笑顔の英会話を身につけます。

も

11、今後に向けて

○深刻な財政難

- ・行き詰まる教育投資
- ・教育施策の新展開に苦しむ
⇒ 多様な連携の必要

いっそう工夫して、市の特色を生かした教育活動に取り組んでいきたいと考えています。



○民間資金による教育機会を創出

- ・CF(クラウドファンディング)による資金調達
【クラウドファンディング：不特定多数の人が通常インターネット経由で他の人々や組織に財源の提供や協力をすること】

○阪南の海のアマモを守る「全国アマモサミット事業」

○英語と楽しく出会う「英語にワクワクプロジェクト」

○除去食充実のための「アレルギーフリー給食プロジェクト」

- ・募集方法：民間ふるさと納税総合サイトを活用
GCF(ガバメント・クラウドファンディング)
寄付額・～約130万円

ご清聴、
ありがとうございました。